

※詳しくは圖に問い合わせください。

国は、この期間を女性の健康週間と定め、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を過ごすことを目的とした運動を行っています。

3月1日(木)～8日(木)は「女性の健康週間」

LED防犯灯の設置費用の一部を補助しています。申請の詳細は各行政協力員へ通知します。

LED防犯灯の電球交換、電気料金の支払いなどは、地区で維持・管理しています。

防犯灯の要望などは、地区の代表者にご相談ください。

地区の代表者(区長・地区公民館長・行政協力員)

申請期間 4月2日(月)～27日(金)

対象 地区の代表者(区長・地区公民館長・行政協力員)

LED防犯灯設置の補助金申請を受け付け

乳がん検診、子宮頸がん検診、骨粗鬆症検診などを行っています。現在、平成30年度の複合健診の申し込みを受け付けています(詳しくは12ページをご覧ください)。

平成30年度スポーツ安全保険を受け付けます

万一のケガに備えて、スポーツ安全保険に加入しませんか。スポーツ・文化・ボランティア・地域活動を行う4人以上の団体で加入でき、団体での活動中や団体活動への往復中の事故を補償します。

あなたも複合検診を受けてみませんか

図 保健センター 63・1133

賠償責任保険・突然死葬祭費用保険があります。掛け金は中学生以下の子どもが年額800円、高校生以上の大人は活動内容によって金額が異なりますので、詳しくは問い合わせください。

子ども医療費助成 4月から小学4年生になる子どもは現在の緑色の子ども医療費受給資格者証では受診できなくなります。3月末に届く白色の新しい医療費受給

子ども医療費助成 成期限にご注意を

2月1日付けで新たに次の人を行政協力員に委嘱しました。

地域と行政のパイプ役 行政協力員 新任紹介

事務所と生涯学習課(63・1681)にあります。図スポーツ安全協会熊本支部 096・213・9015

資格者証をご利用ください。小学4年生から6年生の子どもは、1医療機関ごと、1カ月あたり外来500円、入院2千円の自己負担が必要になります。中学生になる子どもは、入院のみが医療費助成の対象です。資格者証は発行しません。入院した場合、領収証と保険証、振り込み先の通帳をお持ちください。

ひとり親家庭等医療費助成

ひとり親家庭等医療費を受給している子どもで、平成11年4月2日～12年4月1日生まれの人は、3月31日(土)受診分までが助成対象です。

ひとり親家庭等医療費助成

現在、ひとり親家庭等医療費助成を受給している世帯に平成20年4月2日～21年4月1日生まれの子どもがいる場合、子どもの資格取得手続きが必要です。4月受診分から対象となりますので、3月中旬に手続きをお願いします。

子どもの保険証、印鑑 子育て支援課 子育て支援課給付相談係 63・1417

子ども医療費助成

図 総務課行政管理局 63・1209

子育て支援課

図 子育て支援課給付相談係 63・1417

あらッ 有機質肥料販売中 (登録番号 生第103494号) 株式会社 クリーン発酵九州 熊本県荒尾市大島1738番2 FAX 0968-62-5188 お問い合わせ ☎ 0968-62-5588

※詳しくは圖に問い合わせください。

平成30年度 家屋消毒の申し込みを受け付けます 図環境保全課環境業務係 ☎ 63-1370

【集団消毒事前抽選会】

●日時 3月19日(月) ●場所 市役所11号会議室 ●抽選開始時間 午前9時30分(受付:午前9時～) ●抽選方法 行政協力員に配布している用紙でご確認ください。届いていない場合は、問い合わせください。

【個人消毒】

個人で申し込む場合は、4月2日(月)から環境保全課で受け付けを開始します。※家屋消毒は有料です。詳しくは問い合わせください。

Table with 3 columns: 区分, 受付方法, 消毒実施期間. Rows for 集団消毒 and 個人消毒.

地域おこし協力隊 活動便り Vol.20 荒尾の魅力、荒尾の情報を Facebook、Instagram で発信中

荒尾市地域おこし協力隊員は、最長3年の任期のもと、シティプロモーション・観光振興・農業振興・移住定住担当として、日々、荒尾の魅力を知り、その魅力を伝え広げる活動を行っています。



◆上田恵子隊員(平成29年1月着任/移住・定住担当) 昨年11月に体験住宅を利用されたご家族から、メッセージを頂きました!利用中も、図書館で親切に対応してくれた人、小岱山でラーメンをあげると声をかけてくれたおばちゃん、駐車場まで送ってくれたおじちゃんなど、出会った人との温かいエピソードを話してください、荒尾の人の温かさを再認識。「一番一生懸命なコーディネーターさんでした」とのうれしいメッセージに、すぐには移住につながらなくても、一つ一つの出会いを大切にすることが私にとっても荒尾にとっても大切なんだと改めて思うことができました。



◆須田賢士朗隊員(平成28年1月着任/広報担当) 府本小が行っている、起業家精神の育成事業を取材。各学年ごとに荒尾の特産品などを使って商品開発から販売までをします。密着取材した3年生では、荒尾梨と市内でハーブ栽培をしている「はるさあはーぶ」さんのレモングラスを使ってナシのハーブティを作り、ふもとマルシェで販売しました。市場調査に始まりナシのドライフルーツ化、レモングラスと混ぜてのパッケージングとすべての工程を自ら行った子どもたちの発想力や分析力には学ぶことが多々ありました。この事業をきっかけに市の特産品を生かしたPR活動をしていけたらと思います。

